

みんなのひろば



▲全国から16チームが参加した『第5回所沢市長杯全国社会人女子9人制フレッシュバレーボール大会』。9人制バレーボールは、ポジションに関係なくコートを自由に動けるのが特徴で、選手はコート狭しと駆け回り、粘り強い試合が展開されました。10月19日(日)／市民体育館 (撮影：市民カメラマン・白須信一)



▲過去最高の1,164人が日頃の鍛錬の成果を競い合った『第15回所沢市陸上競技選手権大会』。さわやかな秋晴れのお天気も後押しして、短距離、長距離、走り幅跳び、砲丸投げなど11人が大会新記録をたたき出しました。10月12日(日)／早稲田大学織田幹雄記念陸上競技場 (撮影：市民カメラマン・佐藤清一郎)



▲山車の曳き回し、神輿、民踊流しやサンバなどで盛り上がった『ところざわまつり』。クライマックスを迎える夜には、ちょうちんの明かりに豪華絢爛な山車が浮かび、熱気は最高潮に達しました。10月12日(日)／中心市街地 (撮影：市民カメラマン・谷 亮)



▲養蚕農家が多かった時代には、蚕の豊作を願って行われていた「糞合八幡神社のやぶさめ」。子どもたちは所沢商業高校3通部の生徒の指導を受けて、木馬に跨りながら3射するやぶさめを体験しました。9月28日(日)／糞合八幡神社 (撮影：市民カメラマン・三平資郎)

おうちで食べよう! 所沢の学校給食

40 しゃくし菜チャーハン

栄養士さんが考えた学校給食のメニューの中から、所沢産の食材を取り入れたものや、特色あるレシピを紹介します。

- ◆今回の献立
- しゃくし菜チャーハン★
- 牛乳
- いかの竜田揚げ
- 大根サラダ
- ワンタンスープ



- ★しゃくし菜チャーハン
- 材料(4人分)
- 米……………2合
- 米粒麦……………大さじ2
- 鶏がらスープのもと…小さじ1
- ねぎ……………60g
- 干し椎茸……………2枚
- しゃくし菜漬……………60g
- サラダ油……………小さじ1/2
- 砂糖……………小さじ1
- 卵……………1個
- ごま油……………小さじ1
- 豚ひき肉……………50g
- 酒……………小さじ1
- しょうゆ……………大さじ1
- 塩……………小さじ1/2

- 作り方
- ①米は洗って浸し、米粒麦と鶏がらスープのもとを加えて2合の水を加減で炊く。
- ②ねぎ、もどした干し椎茸、軽く搾ったしゃくし菜漬は荒みじん切りに切る。
- ③鍋にサラダ油を熱し、砂糖を加えて混ぜた卵液を入れ、かき混ぜながら卵を作る。
- ④フライパンにごま油をひき、豚ひき肉を色が変わるまで炒め、干し椎茸を加えてさらに炒める。
- ⑤④にねぎ・しゃくし菜漬を加えて軽く炒め、③の調味料で味を調える。
- ⑥炊き上がった①のご飯に、⑤の具と③の炒り卵を加えて軽く混ぜて出来上がり。
- ◎野沢菜漬や高菜漬を使ってもおいしくできます。

ここがポイント

明治初期に中国から日本に伝わったとされ、秩父地方では、白菜のかわりに作られてきました。形がしゃもじに似ることから「しゃくし菜」と呼ばれ、品種名は雪白菜といひます。シャキシャキした食感で漬物にすると歯切れがよく、艶がでます。チャーハンやお焼きの具などにもぴったりです。

保健給食課 ☎2998-9249 ☎2998-9167

はっぴー 野老っ子

詩吟、邦楽芸能、俳句、短歌、美術、映像、演劇、フラワーアレンジメントなど、伝統文化から現代文化まで18団体、約4,000人が日頃の成果を披露しあう「所沢市文化祭」が、芸術の秋を中心におよそ半年間に渡って行われています。今回は、今年で60回目を迎えた「所沢市文化祭」を主催する所沢市文化団体連合会(文団連)の会長を務める平原東道さんをご紹介します。

さまざまな文化活動を楽しむ人々が集まる文団連ですが、平原さん自身は、中学2年生から60年以上、漢詩や和歌などを独自の節回りで歌う詩吟をたしなむことができました。「作者が心血を注いだ詩の一言一句に思いを巡らせながら歌うことで、その世界に埋没することができます。それは、『感動とロマン』。感動のない人生ほどつまらないものはありません。私にとって詩吟は生きる喜びです。」と目を輝かせます。

そんな情熱あふれる平原さんの周りには多くの人が集まり、これまでに指導した門下生は数え切れません。教える上で一番大事にしていることは、技術ではなく「礼節」です。「良い師弟関係を築くには、信頼関係の構築がなにより大切」と語ります。こうしたコミュニケ

文化は人を育て、時として人を救う

文化団体連合会会長 平原 東道さん(中富在住)

ーションを大切にする姿勢は、文団連の会長という立場でも同じです。「会長を引き受けてから、詩吟以外の文化活動の発表の場にも積極的に参加しています。お互い面と向かって話すことで理解しあえることも多いです。なにより皆さんが生み出す美しい芸術に触れると、心が和み、幸せな気持ちになります。」と顔がほころびます。



▲詩を吟ずる平原さん

全山紅葉に染まります。見慣れているせいか決して奇麗とはいえず、これが故郷の紅葉と思いつつ、眺めていました。上京して半年後の紅葉シーズンに帰省したとき、仙台と山形をつなぐ山峠を越えて目にしたのは紅葉のトンネル、真っ赤に染まったカエデが群生し、その奇麗さに圧倒された感動でした。

やっぱり自治会・町内会でしょ!

ご近所同士で力を合わせ、さまざまな課題解決や地域の絆づくりを行っている自治会・町内会をご紹介します。

三ヶ島第二区自治連合会

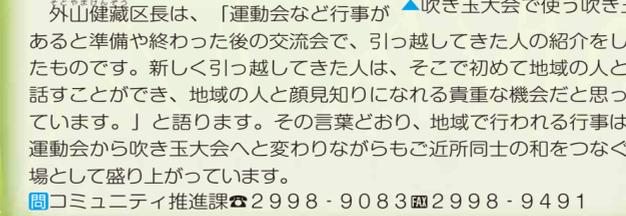
～盛り上げていこう! 吹き玉大会と地域の和～

市の西部に位置する三ヶ島2～4丁目の南北に広がる地域に三ヶ島第二区自治連合会があります。37年前に、この地域の6つ支部それぞれが自治会となり、その6自治会が一つとなって「三ヶ島第二区自治連合会」になりました。同連合会では、防災活動やレクリエーション活動などさまざまな行事を行っています。防災活動では所沢中央消防署三ヶ島分署の協力により、消防の専門的技術がない人でも自衛消防隊員として活躍できるように、実際に自衛消防隊倉庫で保管している消火ポンプを使用した操作講習など実践的な訓練を行うほか、11月には救命救急、消火訓練、けむり体験など、本格的な防災訓練も行っています。

その他にも、ソフトボール大会、敬老祝賀会を行っています。特に力を入れているのが夏祭りや吹き玉大会です。夏祭りは、やぐらを中心に約270個のちょうちんが並ぶ風景がとてもにぎやかです。吹き玉大会は、これまで行っていた運動会に代わって、平成25年から始まった新しい行事です。矢ではなく、手作りの玉を吹くことで、より安全な競技へと改良でき、下は3歳から上は60歳以上の方まで幅広い年代の方が参加しました。玉の飛んだ距離を競うほか、6自治会対抗の当り競技もあり大盛り上がりです。

外山健蔵区長は、「運動会など行事があると準備が終わった後の交流会で、引越してきた人の紹介をしたものです。新しく引越してきた人は、そこで初めて地域の人と話すことができ、地域の人と顔見知りになれる貴重な機会だと思っています。」と語ります。その言葉どおり、地域で行われる行事は運動会から吹き玉大会へと変わりながらもご近所同士の和をつなぐ場として盛り上がっています。

☎コミュニティ推進課 ☎2998-9083 ☎2998-9491



▲夏祭りの様子